

2024年度後期 第2回 リカレント研修会

安心して食べる喜びを支える： 成人摂食嚥下リハビリテーション

広島大学病院 特殊歯科総合治療部
言語聴覚士 山田 幸子 先生



講演内容

- ✓ 摂食嚥下の仕組みについて整理する
- ✓ 摂食嚥下障害スクリーニング検査ができるようになる
- ✓ 嚥下訓練および環境調整、食事形態の工夫などの対応方法について学ぶ
- ✓ チームアプローチと各職種の役割を理解する

日時

LIVE配信

11/13 (水) 18:30 ▶ 20:00

オンデマンド配信

11月22日 (金) ~ 12月1日 (日)

開催方法

オンライン開催 (Zoom)

LIVE配信日の2日前までに、
ご登録のメールアドレスへ送信します

講演の要約

『患者さんからの飲み込みの相談に正しくアセスメント出来ていますか？』

歯科衛生士は口腔ケアの専門知識を持ち、摂食嚥下障害のリハビリテーションに積極的に関与することが求められています。特に高齢者施設や訪問歯科などで、患者さんの摂食嚥下機能の維持・向上に大きく貢献できることは重要です。摂食嚥下障害は高齢者に多く見られるため、歯科衛生士にとっても身近な問題であり、患者さんからも相談を受けやすい職種です。

この講義では、摂食嚥下障害の知識を深め、評価方法やリハビリ、対応策を学びます。これにより、患者さんからの飲み込みの相談に正しく対応し、安心して支援できるようになることを目指します。

また、多職種で関わることの多い摂食嚥下障害について、各職種の役割や連携、チームアプローチの実践についても紹介したいと思います。